

国語
Ⅰ この教科のねらい 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。
2 科目の紹介と学習内容 「現代の国語」（必修修科目・Ⅰ年次） - 論理的な文章や実用的な文章などを読み、実社会に必要な国語の能力を養います。 「言語文化」（必修修科目・Ⅰ年次） - 古典や近代以降の文章を取り上げ、我が国の言語文化への理解を深めます。 「国語表現」 - 作文や小論文など、書く能力を高めるとともに、スピーチやプレゼンテーションなど、話したり聞いたりする能力を身に付け、総合的な表現力を養います。 「文学国語」 - 小説等に描かれた人物の心情や、表現の仕方等を味わい、小説や詩などを創作し、批評し合い、他者との関わりの中で、伝え合う能力を養います。 「論理国語」 - 多様な文章等を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりして、創造的考え、論理的に表現する能力を養います。 「古典探究」 - 古典を主体的に読み深め、関連のある事柄についてさまざまな資料を調べ、発表したり報告書にまとめたりして、古典の意義や価値について探究します。
3 授業の特色 基礎・基本を重視した授業を行います。また、ICT 機器を活用し、自分の考えをまとめて話したり文章にしたりする力を高めるとともに、発表形式の授業を通して、相手の意見を的確に聞き取る能力や伝え合う力を身に付けます。
4 勉強方法 語句調べや漢字学習など、辞書を活用して出された課題をしっかりとこなしましょう。授業中は説明をよく聞き、文字は丁寧に書くよう心掛けましょう。国語の力是一朝一夕で身に付くものではありませんから、普段から読書をしたり新聞に目を通したりして、読む習慣を身に付けることも必要です。
5 評価の観点 【知識・技能】 定期考査、授業中の発表、小テスト、ノートの整理状況 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の発表、ノートの整理状況 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の態度、ノートの整理状況、課題の提出状況
SHRの時間に年間約 15 回の漢字テストを実施し、優秀者を表彰しています。また、日本漢字能力検定を年 2 回実施しており、資格を取得することができます。